

## シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE35051	
科目名	多職種連携医療学概論	
科目名 (英語)	Introduction to Coordinated Medical Technology & Science	
授業形態	講義	
標準履修年次	1～4年次	
実施学期・曜時限等	2019年9月20日(金) 21日(土)、22日(日)	
使用教室	4B209	
単位数	1.0	
担当教員名	會田雄一、川西邦夫、野口恵美子 (以上、筑波大学)、富田和秀、大瀬寛高、橘香織、森浩一、對間博之 (以上、茨城県立医療大学、非常勤講師)、永井友和 (つくば i-Laboratory、非常勤講師)、村田佳彦 (筑波大学附属病院、非常勤講師))	
備考	実務経験教員：全担当教員	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	會田雄一、4B棟215  連絡先 (#を除く) aita.yuichi.ga#@#u.tsukuba.ac.jp  件名に「多職種連携医療学概論」と記してください	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	6. 協働性・主体性・自律性
	医療	5. チーム医療の理解と実践能力
	国際	
授業の到達目標 (学修成果)	臨床検査学、放射線技術科学、理学療法学の概要を説明できる。	
他の授業科目との関連	なし	
履修条件	なし	
授業概要	多職種の医療専門職を目指す学類(学部)生が、将来、メディカルスタッフとして連携を図るための基礎的な知識を学ぶ。 (茨城県立医療大学生の履修を積極的に推進し、両大学の学生の交流も図る)	
キーワード	多職種連携、チーム医療	

<p>授業計画</p>	<p>1) 會田、永井、村田（以上、臨床検査技師）、川西、野口、大瀬（以上、医師）、富田、橘（以上、理学療法士）、森、對間（以上、診療放射線技師）</p> <p>2) 全担当教員が医療専門職としての実務経験を活かして実践的教育を行う。</p> <p>3)</p> <p>9月20日（金）</p> <p>臨床検査医学の現在と未来（會田） 細胞診のための組織と病理（仮）（川西） 染色体と遺伝子（仮）（野口） 呼吸リハビリテーション（富田）</p> <p>以下の6コマは履修証明プログラム「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」履修生も参加する。</p> <p>9月21日（土）、22日（日）</p> <p>病理検査と臨床との関わり（村田） 臨床化学検査（永井） 画像診断検査：単純および造影 X線検査（森） 画像診断検査：核医学検査（對間） 呼吸器疾患各論（大瀬） 運動学から見た筋力（橘）</p> <p>各講師陣は、臨床検査技師、医師、理学療法士、診療放射線技師の専門職としての経験をもとに講義する。</p>
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>講義（100%）、レポート作成</p>
<p>単位取得要件</p>	<p>出席（&gt;66.7%）を前提とした、レポート提出による</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>レポートの評価により A+～C で評価する</p>
<p>教材・参考文献・配付資料等</p>	<p>manaba から提供</p>
<p>その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）</p>	<p>「多職種連携医療学概論コース」（<a href="https://manaba.tsukuba.ac.jp">https://manaba.tsukuba.ac.jp</a>） 日程は、変更することがあります 掲示、manaba から通知 4B209は講義自動収録システムが設置されています</p>